

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Apr.2010

4

No.594

特集
約束のメダル

バンクーバー冬季パラリンピックアルペンスキー男子大回転座位で銅メダルを獲得した鈴木猛史選手（駿河台大、猪苗代高卒）。
念願のメダル獲得を果たし、表彰台で喜びを爆発させた。
3月16日（日本時間17日）、ウイスキー

Photo by Isao Horikiri

特集

約束のメダル

カナダのバンクーバーで開催された冬季パラリンピックアルペンスキー男子全5種目に出場し、大回転座位で見事銅メダルを獲得した鈴木猛史選手(駿河台大、猪苗代高卒)。メダルを指して挑んだ。厳しい戦いの軌跡を振り返る。



大回転で獲得した銅メダルを持たせてもらった。鈴木選手が重ねてきた努力や今まで彼にのしかかっていたプレッシャーが、このメダルの重さに込められているような気がした。

カナダのバンクーバーで3月12日から21日まで開催された冬季パラリンピック。本町出身の鈴木猛史選手(21)は(駿河台大、猪苗代高卒、以下敬称略)は男子アルペンスキー座位の全5種目に出場し、大回転3位、スーパードouble、スーパードoubleで5位に入賞するなど大活躍を見せた。

まさかの日程変更

高校生だった前回のトリノパラリンピック。大舞台の緊張や体調不良などで実力を発揮できず悔しい思いをした。あれから4年、世界選手権やW杯などに出場し経験を重ね、選手として一回りも二回りも成長した鈴木。直前のアメリカで開催されたW杯でもスーパードoubleで2位、スーパードoubleで3位に入賞するなど、好調を維持したままバンクーバーパラリンピックに臨んだ。

満を持してバンクーバー入りした鈴木を待っていたのは、目まぐるしく変わる天候と日程だった。そのため、コース整備に時間のかかる高速系種目を後半にするなど、日程が変更された。鈴木が最も得意とする回転は、当初日程では最終種目だったが、最初の種目になってしまった。回転に合わせて応援に来るはずの両親の日程も合わなくなってしまう。「ヤバイな、明日か…」回転に向けてピークを持っていくようにしていた。

た鈴木の計画が狂った。正直、戸惑いを隠せなかったという。

悔いが残った回転

14日、回転のスタートを迎えた。メダル獲得の期待がかかる得意種目。鈴木自身「回転で金メダルを」という強い思いがあった。「緊張していたし、アイスバーンにどこまでエッジが噛むのか分からなかったの、で慎重にいった」という1本目は6位、3位との差は0秒82。逆転でメダルを狙える位置につけた。この差ならいけると思った。

おもいきり攻めていくと決めて臨んだ2本目、わずかなタイムを削るため、ポール際をセンチ単位で攻めた。得意の逆手でポールを払い飛ばし、快調に飛ばしていたが、ポール直前でポールに手が引つ掛かかってしまった。「やっちゃった。終わっちゃったな」と思った。結果は15位。調子が良かっただけに一層悔しさがつのった。しかし、いつまでも悔しがっている訳にはいかない。鈴木は両親や知人などに電話やメールで「回転がダメだった分、大回転で頑張る」と伝えた。

自宅からインターネットのライブ中継で息子の活躍を応援していた父保さんは「攻めていった結果だからしょうがない。子どものころから逆手を使っているが、あんなミスは見なかったが、頑張って耐えた結果がメダルにつながったから良かった」とレース振り返った。

メダル獲得の興奮も覚めやらぬ18日からは滑降、スーパードoubleとスーパードoubleの3レースが実施された。4年前のトリノでは4位入賞を果たした滑降だが、決して得意ではない種目。結果は11位だったが「視界も良く自分としては頑張った」と納得のレースだった。

続くスーパードoubleでは、直前の選手の転倒という不運に見舞われ、途中まで滑った鈴木が再スタートとなるハプニングもあったが、5位入賞という成績を収めた。

最終種目のスーパードoubleは、回転を得意とする鈴木に2つ目のメダルの期待が高まった。1本目のスーパードoubleで8位につけた鈴木は、2本目の回転で巻き返しを狙い積極的に攻めた。惜しくもメダルには届かなかったが、見事5位入賞を果たした。

全5種目で3位入賞1回、5位入賞2回という立派な成績を収めたが、「あれ(銅メダル獲得)で勢いに乗ればよかったのに、なんとなく安心してしまいました。それが今回の反省点」と鈴木は悔しさをにじませた。「念願のメダルを取ることができてうれしかったが、今回も得意の回転ではメダルを取れなかった。うれしさ半分悔しさ半分」と2度目のパラリンピックを振り返った。



Photo by Isao Horikiri

鈴木が最も得意としている回転競技。曲る方向と逆の手(アウトリガー)を使ってポールを払う逆手はバランスを取るのが難しく、パラリンピックに出場する選手の中でも数人しか使えない高等技術。その滑りは他の選手から「踊っているようだ」と評される

たことがない。こういう大きな大会(パラリンピック)には魔物がいるなと思った」と話した。

大回転で銅メダル

16日の大回転は雨が降り、バーンも荒れた最悪のコンディションの中でのレースになった。とにかく落ち着いて滑ろうとレース中も自分に言い聞かせたという鈴木。雨を含んだ雪で苦戦する選手が多い中、悪条件の中でも安定した滑りで高いターン技術を披露した。1本目で3位につけると、2本目でも落ち着いた滑りで3位を守り抜いた。

ゴール後には右手を突き上げ、表彰式でも両手を突き上げて歓喜の表情を見せるなど、普段シャイな鈴木にしては珍しく感情をあらわにした。「うれしかったので、あれぐらい言たほうがいいのかと思って」と話したが、メダル獲得への周囲の期待は相当なプレッシャーだったに違いない。得意の回転での失敗をはねのけて、うれしい銅メダル獲得となった。

銅メダルを取った滑りに点数をつけてもらうと「正直50点以下です」と意外な答えが返ってきた。「雨でバーンも荒れていたの、アグレッシブに自分の滑りで攻めるといふよりは、ミスをしないうようにじっと耐えるレースだった。滑り自体はよく

最初は言わされたようなものだった でもそれは本当の夢になったんです



鈴木選手の両親
鈴木 保さん、弘子さん

小学校入学前から父保さんとスキーに出かけていた鈴木は、スキーが大好きでやさしい少年だった。交通事故に遭い、両足を失った後も鈴木は明るくやさしさは変わらなかった。「猛史は小さいころから地

パラリンピックのメダリストは
どのようにして成長してきたのか
最も身近で彼を見てきた人たちに聞いた

一朝一夕ではメダリストにはなれない
人知れず努力する日々があった
支えてくれる人たちがいた

「スキーができるの?」と言ったときの 目の輝きは忘れられないです

情野さんが手にしているのは、鈴木選手のチェアを整備するため自作した調整台



有限会社 アンクル
情野 操 代表取締役

会津美里町にある義肢装具製造の「有限会社アンクル」。社長の情野操さんが鈴木選手のチェアスキーのシートとカウル部分の製作を手掛けている。小学2年生のころに交通事故に遭い両足を切断した鈴木選手の義足を作ってから、十年の付き合いになる。

「ケニーくんみたいなすごい子がいるよ」会津若松市内の病院で看護実習をしていた情野さんの長女が父にこう話した。ケニーくんとは、足

が不自由でもたくましく生きる少年の姿を描いたアメリカ映画の主人公両足を失ったことにもめげない元気な鈴木選手の姿がケニーくんになんて見えたのだ。

その後、鈴木と両親から義足の相談を受けることになった情野さん。「この子が娘が話したケニーくんか」初めて鈴木に会った情野さんはベットの所で逆立ちするなど、映画の主人公以上に元気な鈴木の様子に心を打たれ、義足を作ることを決心した。「スキーはできないんでしょ」とがっかりしている様子の鈴木に情野さんはチェアスキーの存在を教えた。「スキーができるの?」と言ったときの鈴木の目の輝きは忘れられないと話す。

その後、県障害者スキー協会の斎藤俊蔵会長を紹介したのも情野さんだった。チェアスキーを始めた鈴木は、瞬く間に腕を上げチェアスキーにのめり込んでいく。中学生になって、車いすに乗ることが多くなった鈴木とはしばらく顔を合せなかったが、テレビやラジオなどで活躍を聞き、陰ながら応援していた。

鈴木と鈴木の父保さんが久しぶりに情野さんのもとを訪れたのは20年5月のとある日曜日のことだった。以前は大阪の業者に依頼していたが、その都度調整に通うのが困難なので「情野さんが作ってくれませんか」と依頼された。義肢装具士の情

域の人にやさしくされ、声を掛けられて育ってきた。みんなはお前のことを知ってるんだから、ちゃんとあいさつするんだよと言った育てた」と母弘子さんは言う。

チェアスキーと出会い、鈴木は以前と同じようにグレンデに出かけるようになった。「福島でチェアスキーを始めたころは、周りの人がみんなお父さんくらいの年齢だった。だから猛史のスキーのお父さんはいっぱいいるんです。同級生が多かったの」で、最初のころはお父さんが楽しくてスキーに行っていたと思います」と弘子さん。

チェアスキーが楽しかった理由はもう一つある。「チェアスキーは友達と一緒に滑れる。チェアを履けば同じグレンデで、同じように滑れる」そう言って楽しそうだったと両親は当時を振り返る。

大学生になって迎えたパラリンピックの年。シーズン当初の不調はシートフレームにチェアを固定する位置が高かったこと。微妙な差だったが幼いころから鈴木選手の道具を見てきた保さんが気づいた。それを修正すると鈴木選手の調子も戻っていった。鈴木と保さんとの深い絆を表現しているようなエピソードだ。

野さんにとつて、チェアスキーは全く未知の領域。「日本を代表する選手のチェアを引き受けたら、悩んでいる時間はなかった」という。「幼いころから猛史くんを知っている自分だからその力になれるかもしれない」と申し出を受けた。鈴木の見聞や要望を取り入れながら試行錯誤を重ねた。初めて製作したチェアスキーは、昨年韓国で開かれた世界選手権で大回転優勝、パラリンピック出場決定という結果をもたらした。

パラリンピックを家族と一緒に応援していた情野さんのもとに、回転の後「次は回転の分まで頑張ります」と鈴木本人からメールが入った。次こそはと期待していた大回転で、見事銅メダルを獲得。新聞社からの知らせを聞き、家族みんなでパンザイをして喜んだという。「メダル取れましたー」って猛史くんから電話が来たんですよ。よかったねって言ってみんなで喜んで。若いのに律儀で、かわいくて仕方がないですね」と話す情野さん。

「本人は覚えているか分からないですけど、猛史くんが競技を始めたころ、いつかおじさんの会社がスポーツ用品になってやるからと話したことがありました。今回やっとその約束を果たせた」とうれしそうな笑顔を見せた。

パラリンピック大回転で銅メダルを獲得した鈴木。表彰台で両手を突き上げて喜んだ姿には、保さんも弘子さんも驚いたという。「あれはメダルというプレッシャーからの解放がうれしかったんじゃないのかな。あんな喜び方をするのは初めて見た。数年後は社会人として競技に臨むことになる。あのくらい自分の主張とか競争心を前面に出して、しっかりと頑張つてほしい」と保さんは話した。「猛史が事故に遭った時には、こんな悲劇があるのかと思ったが、それ以外は運がいいと思う。やさしい友だちや応援してくれる皆さん、いろいろな人に支えられたおかげでこういう結果を残せたのだと思う」と両親は声をそろえた。

鈴木はまだ21歳、世界でさらに飛躍するチャンスはまだある。そんな息子の今後について、保さんは「金メダルを取るまではスキーはやめないう」と予測する。なぜなら「小さいころからの夢だから」。最初は言わされてきたようなものだった。アナウンサーに夢は何ですかと聞かれて、金メダルと答えれば喜ぶ。それがいつしか鈴木の本当の夢になっていた。

銅メダルは獲得したが、本当に欲しいものはまだ手に入っていない。回転競技での金メダル獲得を目指す息子を両親は陰ながら応援していくつもりだ。

「県民や猪苗代の皆さんにメダルを持って帰ってきます」
 応援する会による激励壮行会の席上で
 そう決意を示した鈴木選手。
 約束を果たした彼は今、何を思うのか



町農村環境改善センターで2月14日に開かれた、鈴木猛史君を応援する会主催によるバンクーバーパラリンピック激励壮行会。鈴木選手を応援する町民ら約100人が激励に訪れた

バンクーバーから帰国した鈴木は25日に帰町。自宅をつかの間の休みを取ると、26日には「鈴木猛史君を応援する会」事務局長の新明哲也さんと一緒に会長である津金町長のもとを訪れ、凱旋の報告をした。

津金町長と対面した鈴木は「猪苗代町にメダルを持って帰るという約束を果たせてうれしいです。肩の荷が下りて楽になったというか、ほっとしています」と笑顔であいさつ。津金町長は「すいふんと重いね。このメダルは猛史君の努力の結果だ。わたしたちは応援する会の会員ですが、猛史君の頑張りで逆に励まされている。健闘を心からたたえたい」とねぎらいの言葉をかけた。

報告後、鈴木に今大会を振り返ってもらおうとともにこれからの抱負を聞いた。

大会を振り返って。
 「大回転でメダルを取れたのは良かったが、回転でメダルを取れなかったのは悔しい。日程の変更、天候や雪の状態など、条件はみんな一緒ですが、苦しいレースだった」

初めてメダルをかけたときの気持ちは。
 「すごくうれしかった。まず苦労をかけた両親の顔が浮かんだ。親にメダルを見せることができる、そして猪苗代町にメダルを持って帰れると思うとうれしかった。今、自分が生まれ育った町に報告できてほっとした。やっとメダルを取ったという

ではなく、スポーツ選手として、競技者としてやっている。そこをよく理解してほしい」

今後の予定は。
 「これからは就職活動。4月は休んで、5月の連休明けから本格的に活動したい。自分の実力を高めるためにも、障害者スポーツに理解のある職場を探したい」

4年後の目標は。
 「プロとして年間300日も滑っている世界の強豪と戦っていくためには、いい就職先を見つけてスキーに集中できる環境を作ることが必要。4年後に向けて自分を鍛え、そして回転では金メダルを目指す」



津金町長に銅メダルを披露し、握手を交わす鈴木選手(右)

実感がわいた」

両親や大学の関係者の皆さんも応援に来てくれたが。
 「両親やお世話になっている人の前で表彰台に立ちたかったが、叶わなかったのが残念。途中棄権やけがなく、自分の滑りを見てもらったのは良かったと思う」

たくさんの声援を受けたと思うが。
 「家族、応援してくださった皆さん、チームスタッフ、用具を提供してくれる皆さん、マネージャーや学校関係者など挙げればきりがなが、今まで支えてくれたすべての皆さんのおかげでメダルが取れたと思っています」

日本の障害者スキーを取り巻く環境は。
 「世界と比べて日本は遅れていると思う。海外の一流選手はプロ選手として活躍しているが、日本はまだそこまでいっていない。例えばドイツチームはオリンピック選手とパラリンピック選手のワンピースは同じもの。待遇に差はない。パラリンピック後に出演したテレビ番組でも紹介されたが、日本ではオリンピックとパラリンピックでは報奨金は3分の1、補助金の予算も10倍くらい違う。自分たちが頑張ることでそういう状況を変えていければいいと思う。自分たちはリハビリの一環として

取材を終えて

『約束のメダル』を猪苗代に持って帰ってこれた本当にうれしい町民との約束を果たした鈴木猛史選手は笑顔でそう言った。

皆さんはバンクーバーパラリンピックに挑む日本代表選手の映像を見ただろうか。鈴木猛史選手の滑りを見ただろうか。バンクーバーで戦っていたのは紛れもなくアスリートたちだった。帰国後、あるテレビ番組に出演した選手たちが口々に言ったのは、諸外国と日本の、障害者スポーツなどを取り巻く環境の差だった。

この国から「障害者スポーツ」というカテゴリーを無くし、スポーツ選手としてみんなを応援したい。そんな国づくり、町づくりを進めていくことを「約束」しようと思っただけではないはずだ。
特集 約束のメダル 終わり



Photo by Isao Horikiri

銅メダルを獲得した大回転競技での滑り。荒れたバーンをものもしない安定したターンを見せた。



鈴木 猛史

TAKESHI SUZUKI

Profile すずき・たけし
 駿河台大スキー部所属
 猪苗代町蟹沢出身 猪苗代高卒
 小学校2年生の時に交通事故に遭い両足を失う。翌年チェアスキーと出会う。
 バンクーバーパラリンピックアルペンスキー男子大回転座位で銅メダルを獲得
 趣味はカメラとインターネット、日本代表の同僚から「滑るアキバ」と呼ばれているとか 1988年5月1日生まれ

一般会計予算は 67億1,400万円

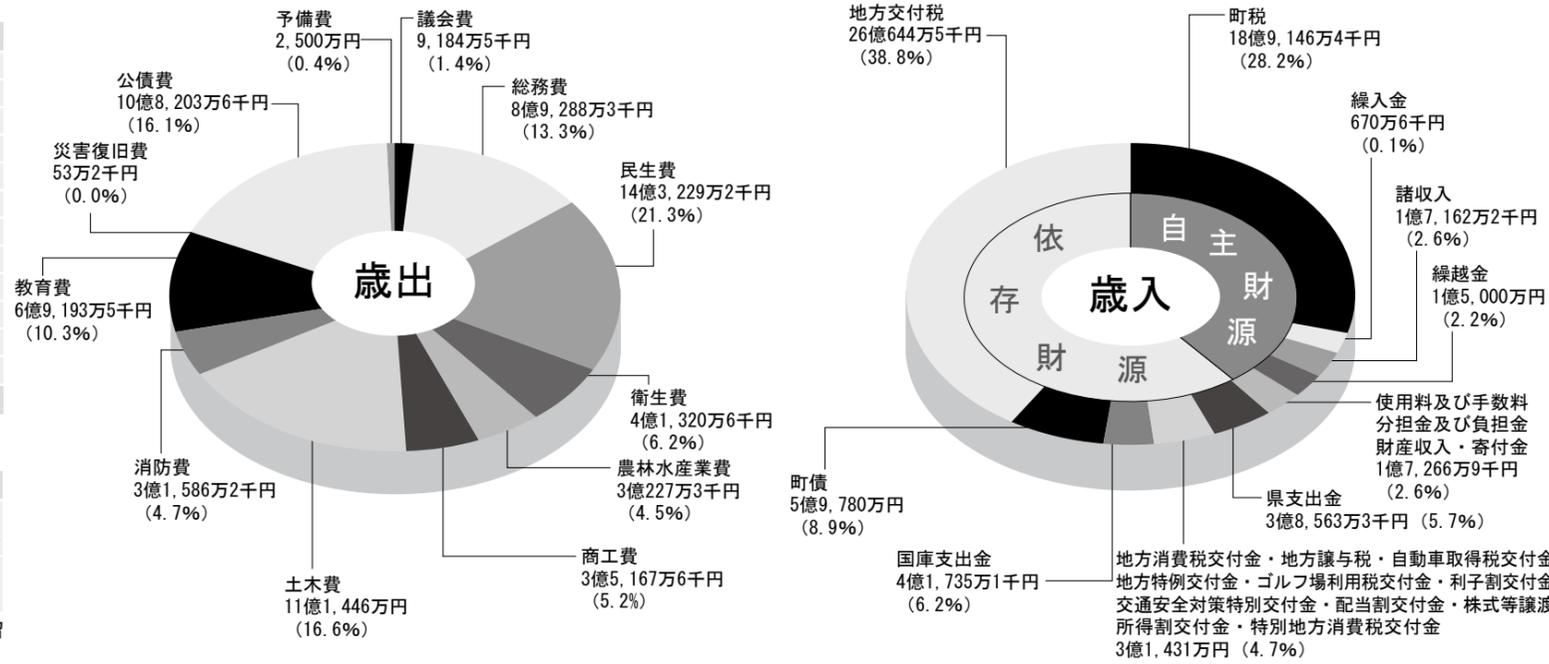
特別会計予算

会計名	予算額	対前年度比
猪苗代地区財産区	1,095万円	△73.3%
翁島地区財産区	344万6千円	44.5%
長瀬地区財産区	2,186万3千円	79.1%
吾妻地区財産区	911万4千円	△23.2%
国民健康保険	17億2,880万円	△4.8%
後期高齢者医療	1億6,208万8千円	△1.9%
老人保健	12万8千円	△86.6%
介護保険	12億6,694万3千円	△14.1%
下水道事業	6億6,406万3千円	△1.2%
特定環境保全下水道事業	1億1,890万5千円	△28.0%
農業集落排水事業	3億1,242万4千円	18.1%
簡易水道事業	1億130万円	△0.1%
合計	44億2万4千円	1.0%

水道事業会計予算

区分	予算額	区分	予算額
収入	3億1,464万円 (対前年度比△3.7%)	資本的収入	46万円 (対前年度比△96.5%)
支出	2億7,925万8千円 (対前年度比0.3%)	資本的支出	1億4,224万円 (対前年度比△17.4%)

※資本的収支の不足額1億4,178万円は、当年度損益勘定留保資金などから補てんします。



町税の内訳

区分	予算額	対前年度比
町民税	5億4,017万7千円	△5.9%
固定資産税	11億6,888万2千円	0.6%
軽自動車税	3,364万円	1.3%
町たばこ税	1億1,245万8千円	△6.0%
特別土地保有税	40万円	0%
入湯税	3,626万7千円	△5.8%
合計	18億9,146万4千円	△1.8%

病院事業会計予算

区分	予算額	区分	予算額
収入	5,313万4千円 (前年度額 6,295万9千円)	資本的収入	1億5,281万円 (同 8億7,298万2千円)
支出	5,313万4千円 (前年度額 6,295万9千円)	資本的支出	1億5,281万円 (同 8億7,298万2千円)

一般会計 歳入

歳入は大きく「自主財源」と「依存財源」の二つに分けられます。「自主財源」とは、町が自主的に確保することができる財源のことです。町の主要な財源の一つである町税をはじめとして、使用料、手数料、分担金、負担金や財産収入などが挙げられます。

一般会計の主要な財源の一つである町税は十八億九千四百六十四万四千円（前年度比三千五百五十三万四千円の減）で歳入全体の28・2%を占めています（内訳は上の表のとおり）。このほか、財政調整基金等からの繰入金が一億七千七百二十万円の増となり、歳入全体の64・3%を占めています。

一般会計 歳出

歳出では、厳しい財政状況の中、限られた財源の効率的な活用に努めます。行財政改革の推進により事務事業を徹底的に見直し、経費の節減・合理化を進める一方、重点施策を選別して編成しました。

歳出の21・3%を占める民生費は社会福祉や児童福祉などに使われる費用で、十四億三千二百二十九万二千円（前年度比二億二千三百二十五千円の増）となっています。これに続くのが、町道や町営住宅の整備・管理、除雪などの費用のための土木費で、全体の16・6%、十一億一千四百四十六万四千円（前年度比三千四百九十九万七千七百七十九千円の減）。

その次に続くのが、借入金償還のための公債費で、全体の16・1%、予算額は十億八千二百三十三万六千円（前年度比七千五百二十九万七千七百七十九千円の減）以下、町の全般的な管理に使われる総務費が、全体の13・3%、八億九千二百八十

前年度からの繰越金が一億五千万円など、自主財源の合計は二十三億九千二百四十六万一千円、歳入全体の35・7%となっています。

「依存財源」とは、国や県から交付される財源のことです。地方交付税、国庫支出金、県支出金、町債などが挙げられます。

依存財源では、全体の38・8%を占める地方交付税が、二十六億六千四百四十五万五千円（前年度比九千四百四十四万四千円）の減、町債は八億九千七百八十八万五千円（前年度比一億五千七百二十万円の増）となりました。

なお、町債の借入れに当たっては、交付税措置のある有利なものを選ぶなど、負担が軽減できるように努めました。このほか、国・県の負担金や補助金、地方消費税交付金など、依存財源の合計は四十三億二千五百五十三万九千円となり、歳入全体の64・3%を占めています。

そのほか衛生費が、四億一千三百二十万六千円（前年度比四百九十九万八千円の減）。商工費が、三億五千六百七十六万六千円（前年度比二百五十九万九千円の減）。消防費が三億一千五百八十六万二千円（前年度比一千二百五十七千円の増）。

農林水産業費が、三億二千二百二十九万二千円（前年度比二億二千三百二十五千円の増）となり、議会議費が九千八百八十四万五千円（前年度比四十七万五千円の増）となっています。

22年度の主な事業

- ▽鶴峰住宅建設事業費 1億7,207万6千円
- ▽地域活力基盤創造交付金事業費 7,469万円
- ▽亀ヶ城公園整備事業費 5,967万6千円

E

lementary school



感謝の気持ちでありがとう

町内5小学校の卒業証書授与式は3月23日、各小学校で挙行されました。緑小学校(松原実校長)では男子6人、女子10人の合わせて16人が卒業。涙を浮かべながら通い慣れた校舎を後にしました。

校長先生から卒業証書を受け取った児童たちは、そのまま壇上で両親などに報告。「今までありがとうございました」「ここまで育ててくれてありがとうございました」などと思い思いにお礼の言葉をかけた後、感謝の気持ちを込めながら花束を手渡しました。

松原校長が「この卒業は、君たちの人生というマラソンのスタート。希望に満ちあふれているばかりではなく、時には失敗や困難もあると思います。それらに負けず一人一人のゴールに向かって、一步一步着実に自分の足で進んでほしい」とはなむけの言葉を贈った後、熊谷喜一町上下水道課長、関澤和人町議会議長らが祝辞を述べました。



写真上 自分たちの在学中に建設された新校舎。4年間通った学校とのお別れに涙があふれます

写真下 壇上から両親に向かい、受け取った卒業証書を披露する生徒

H

igh school



猪高スキ一部 60年の歩み

猪苗代高校スキ一部の60周年記念誌が完成した3月29日、町内のラ・ネージュで編さん委員会が開かれ、委員ら13人が出席しました。

阿部敬委員長は「こんなに素晴らしいものができてうれしい。この『歩み』が後輩の応援や部員のきずなをさらに深めるものになれば」とあいさつ。

新田銀一校長は「スキーは猪高のスポーツ文化。この『歩み』を一つの宝、教材として学校で活用していきたい」と祝辞を送り、発刊のために尽力した本多隆教諭らにもねぎらいの言葉をかけました。

「歩み」には部の沿革、活動の様子を紹介した写真、各種大会の成績や部員名簿などが掲載されています。協力者や関係機関などに配布済みですが、個人で希望する人は下記に問い合わせてください。

問い合わせ先 事務局 堀悟さん 090-1379-5161
または 本多隆さん 090-8615-6553



写真上 記念誌を手に取り、感慨深げに見つめる阿部敬編さん委員長(右)と遠藤俊英副委員長(中)。

写真下 OB、OGらの思いが形になり完成した「若鷹猪高スキ一部 60年の歩み」

INAWASHIRO



3年間の思い出胸に旅立つ

町内の3中学校の卒業証書授与式は3月12日、各校で開かれました。猪苗代中学校(酒井完校長)では、113人が勉強や部活動に全力で取り組んだ思い出の校舎を後にしました。

酒井校長は「人の値打ちは、自分の才能を生かし、どれだけ他人を幸せにできるかということ。夢や希望をエネルギーにして自分の進む道を堂々と歩み、多くの人を幸せにしてほしい」と式辞。山本明子教育委員長職務代理者の告辞に続き、津金町長、安藤貞一副議長、今田剛PTA会長らが祝辞を述べました。在校生代表の佐藤大介さんが「先輩たちの思い出を忘れず目標として頑張っていく」と送辞を述べた後、卒業生代表の関和貴さんが「1、2年生には猪中の素晴らしい伝統を守ってほしい。猪苗代中学校で学んだ挑戦、独歩の精神で困難な道でも迷わず進んでいく」と力強く決意を述べました。



写真上 厳肅な雰囲気の中、卒業式に臨む生徒たち。その胸には楽しかった3年間の思い出がよみがえる

写真下 酒井校長から卒業証書を受け取る赤羽陸さん(中央)



小学校に行っても頑張るぞ

町内各幼稚園では3月18日、一斉に修了証書授与式が挙行され、千里幼稚園はきりん組の21人が卒園しました。

園児らに修了証書が手渡された後、鈴木勝義園長が「みんなやさしく思いやりの深い子どもになってくれたことをうれしく誇りに思います。小学生になっても自分らしさをなくさないよう元気に頑張ってください」と式辞を述べた後、鈴木幹男副町長、長沼一夫議員、棚木剛PTA会長らがお祝いの言葉を贈りました。

担任の青木美緒教諭が「笑顔とありがとうと大好きをたくさんの人に与えられる大人になってください」と話すと涙を浮かべる園児もいました。

4月から千里小学校に入学する棚木恵叶くんは「小学校では算数と体育を頑張りたい。給食も楽しみです」と元気いっぱいに答えました。



写真上 式の最後に歌った「思い出のアルバム」。今までの園生活が思い出され、先生や園児たちの目には涙が
写真下 お母さんに修了証書を手渡し「おめでとう」と声をかけられる岡野青空ちゃん

J

unior high school

N

ursery school



モーグルといえばリステル

W杯に続いて全日本選手権を開催



左から星野、長谷川、水谷、大友の各選手。

第30回全日本スキー選手権大会フリースタイルスキー競技は3月14日、町内のリステルスキーファンタジアで開催され、13日から順延になった男女モーグルと同デュアルモーグルが実施されました。レースでは、チームリステルの若手選手が大活躍。モーグルでは女子の星野純子選手が3位、水谷夏女選手が4位、男子の長谷川健太選手(猪苗代高卒)が5位、大友徹也選手(猪苗代高卒)が6位に入賞。デュアルモーグルでは女子で水谷選手が優勝、男子で長谷川選手が2位、大友選手が3位に入賞しました。次のW杯メンバーを目指す選手たちの活躍から目が離せません。

大活躍の二人に県知事表彰

遠藤尚選手、鈴木猛史選手に知事表彰



佐藤県知事(右)から表彰状を手渡された遠藤尚選手(左)

バンクーバーオリンピック男子モーグル競技に出場し、7位入賞と活躍した遠藤尚選手(忍建設、猪苗代高卒)への知事表彰は3月5日、ホテルリステル猪苗代で執り行われました。

同じくバンクーバーパラリンピックアルペンスキー男子の全5種目に出場し、大回転で銅メダルを獲得した鈴木猛史選手(駿河台大、猪苗代高卒)への知事表彰は3月26日、県庁で執り行われました。

佐藤県知事は「活躍が県民、青少年たちに夢や目標を与えてくれた」と本町ゆかりの2選手の健闘をたたえました。

消防活動に地元企業が協力

第1回目は5事業所に表示証交付



表示証を受け取った消防団協力事業所の代表の皆さん

町消防団協力事業所表示証交付式は4月4日、町役場正庁で執り行われ、各事業所の代表に表示証が手渡されました。

近年、消防団員の減少や仕事で地域にいない団員が増加していることで、地域の消防力の低下が懸念されています。会社員が消防団に入団しやすく、消防団活動がしやすい環境を整備するためこの制度が開始されたものです。

消防団活動へのご協力をよろしくお願いします。
協力事業所は次のとおり。①渡部産業(株) ②東信建設工業(株) ③東栄建設(株) ④五十嵐石材 ⑤東北シール工業(株)

佐野キヨさんが満100歳に

咲楽の里で知事賀寿の贈呈を祝う



津金町長から賀寿を贈呈される佐野さん

3月5日に満100歳の誕生日を迎えた佐野キヨさん(程塚)への知事賀寿贈呈式は同日、特別養護老人ホーム「咲楽の里」で挙行されました。

佐々木孝一会津保健福祉事務所健康福祉部長が、知事賀寿と記念品の会津漆器の木杯を贈呈。続いて津金町長と戸田忠義町老人クラブ連合会長が賀寿と記念品を手渡しました。

90歳を超えるまでは病気の多い病気はほとんどしなかったという佐野さん。長生きの秘訣はよく食べよく働くこと、好物はオロナミンCだそうです。

渡部ハルノさん満100歳に



賀寿の贈呈に「ありがとう」と答える渡部さん

3月12日に満100歳の誕生日を迎えた渡部ハルノさん(関脇)への知事賀寿贈呈式は同日、渡部さんの自宅で挙行されました。

萩尾正人会津保健福祉事務所副所長が、知事賀寿と記念品の会津漆器の木杯を贈呈。続いて津金町長と戸田忠義町老人クラブ連合会長が賀寿と記念品を手渡しました。

津金町長に「今年も来ましたよ」と声をかけられた渡部さんは「町長さんありがとう」と笑顔。ひ孫の大川原暖季くん(6歳)がお祝いに白虎隊の剣舞を披露すると目を細めて喜びました。

元気の渡部さんの長寿の秘訣は、友人とのお茶飲みだそうです。

桃の節句につるしびな飾る

六体地蔵尊に手作りのつるしびな



境内に飾ったつるしびなを見つめる戸田さんら

都沢地区の戸田末子さんら女性8人は3月1日、同地区の六体地蔵尊の境内に手作りのつるしびなを飾りました。

つるしびなは「地区内に災いが起きないように、みんなで仲良くやっていけるように」との願いを込めて、地区のお茶飲み仲間の8人が家庭にあった布の切れ端、タオルやぬいぐるみなどを持ち寄り、3日間かけて作製したもの。

地区で大切にされてきた六体地蔵尊とそこに飾られたつるしびな。戸田さんらは「地区の人だけでなく通りがかりの人にも見てほしい。今後も増やしていきたい」と話しました。

あなたの心は元気ですか？

**新しい環境などが
ストレスに**

4月になり進学、就職、転勤や転居など生活環境が大きく変わった人も多いのではないだろうか。

新しい生活環境は、自分自身が気付かないうちに大きな精神的負担になっていくことがあります。「誰にでもストレスはある」「みんな我慢している」「仕事が大変だから仕方がない」：そんなふうにもストレスを抱え込んでいませんか？

「もう少し我慢できる」と思って無理をしていると、相談や気晴らしをする元気もなくなってしまいます。なんとなくだるいなどの体の症状が、実は心の不調が原因でもたらされているという場合もあります。

人は誰でも落ち込んだり、憂うつな気持ちになったりしますが、多くの場合は時間がたてば元に戻ります。しかし、このような状態が長く続き、食事や睡眠が妨げられるなど、日常生活に支障をきたしてしまう場合は「うつ病」が疑われます。

うつ病にならないため、日ごろから自分の心の健康に気を配ることが大切です。

◆うつ病を疑うサイン

(次の項目に5つ以上あてはまった人は要注意です)

- 1 悲しい、憂うつな気分、沈んだ気分。
- 2 何事にも興味がわかず、楽しくない。
- 3 自分を責めて、自分は価値がないと感じる。
- 4 集中力が落ち、何をしても迷ってなかなか決断できない。
- 5 心配事が頭から離れず、考えが堂々めぐりする。
- 6 疲れやすくてだるく、気力が出ず意欲がわかない。
- 7 寝つきが悪い。朝早く目が覚める。ぐっすり眠った気がしない。
- 8 食欲がなく、体重が減少する(反対に過食になる)。
- 9 死にたい気持ちにたびたび陥る。

◆次のようなことにも気をつけてください

- 1 人に会うのも面倒で、会いたくなくなる。
- 2 酒の量が増える。酒で気を紛らわす日が多くなる。
- 3 朝方に特に、気分や体調が悪い。
- 4 失敗や悲しみ、失望から立ち直れない。



**うつ病になったら
しまったら**

うつ病かもしれないと思ったら：一人で思い悩まず、まずは電話で気軽に早めに相談してください。

うつ病の治療の基本は休養と薬です。焦らず、じっくり休養すること必ず回復していきます。周りの人も焦らない、焦らせないことが大切です。「頑張つて」「早く良くなって」という言葉も「こんなに頑張っているのに」「なんとか期待にこたえなければ」と焦らせてしまうので注意が必要です。

うつ病は脳の神経機能に変調をきたしている状態なので、それを改善するための薬を服用することも重要です。薬の効果が出るのに少し時間がかかりますが、続けて服用することが大切です。薬に不安がある時は、医師によく相談しましょう。

ストレスをためない生活を送り、うつ病を予防しましょう。

▼問い合わせ先
保健福祉課 健康づくり業務

☎(62)21115
こころの健康相談ダイヤル
☎0570(064)556



大好きなママと一緒にポーズ。

「健康で素直なまま大きくなってくれるといいな」
パパとママはそう話しています。

渡部 優羽 ちゃん

平成21年1月生まれ
～白津
崇宏さん・幸恵さん夫婦の長女

1歳1カ月で歩き始めた優羽ちゃん。最近は一人で歩きたくて仕方がありません。お買い物に出かけるとカートも抱っこも嫌がつて、どんどんいろいろな所に歩いて行ってしまう。ことしの冬は生まれて初めてのそり遊びも経験、雪が溶けると近所の散歩も始まって、ますます元気です。

「お風呂はいつもおばあちゃんが入ってくれます。おじいちゃんは歌を歌って聞かせながら面倒を見てくれます。とても助かりますね」とママの幸恵さん。休みの日にはパパの崇宏さんも優羽ちゃんと遊びます。

家族みんなにかわいがられる優羽ちゃん。渡部家は優羽ちゃんを中心に回っていますと幸恵さんは笑いました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

サークル紹介

Circle introduction

体を動かすことが好き。よさこいが好きという皆さんが集まったよさこいサークル、會津猪舞連。最少の6歳から67歳のベテランまで、21人が仲良く活動しています。

「今年で結成10年目です。これからも町を元気づけるため、いろいろなイベントで踊り続けたい」と話す吉田代表。

会員の鈴木恵美子さんは娘の乃愛ちゃん、琉乃ちゃんと一緒に参加。「子どもたちと一緒に踊ることやほかのお祭りでも踊れるのが楽しいですね」と笑顔。

練習は毎週火曜日、午後7時から9時まで。新会員や見学者も募集しています。

※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。毎月一団体ずつ紹介していきますので、希望する団体は総務課秘書広報業務まで問い合わせください。
☎(62)2111

いなまいれん 會津猪舞連 (吉田 智子代表)



(写真左) 毎年開催される「うつくしまYOSAKOIまつり」への参加を目標に、週1回の練習を欠かしません
(写真右) メンバーの高齢化が少し心配と笑う吉田代表

一人一人が自分のレベルに合わせて踊りを楽しんでいます



体験交流館ニュース

昔ながらのもちつきを楽しみました

体験交流館の「こどもひろば」は3月13日、同館で開催され、会場は多くの子どもたちや親子連れでにぎわいました。参加した子どもたちはまがたま作りや五感の達人などのメニューを楽しんだ後、昔ながらの千本ぎねを使ったもちつきに挑戦。つき上がったもちをきなこやあんこをつけて豚汁と一緒に振る舞われ、子どもたちがおいしそうにほおぼる姿が見られました。



22年度体験交流館合同開講式

～新しい春、あなたの学びたい気持ちを応援します～
体験交流館では、本年度もさまざまな講座を企画しています。合同開講式に参加して代表的な講座の説明や発表などを聞いてみませんか。皆さんのご来場をお待ちしています。
期日：4月24日(土)
時間：午前9時30分～12時00分
内容：主催事業の説明、基調講演、町体験交流協会加盟の2団体によるアトラクション、職員紹介
対象：どなたでも参加できます

体験交流館ホームページ

体験交流館のホームページを開設しました。館で開催するイベント、講座の情報、生涯学習課で取り組む事業や体験交流協会の事業についても随時更新していきます。施設の空き状況なども検索できますので、パソコンをお持ちの方はぜひ活用してください。
URL
<http://www.town.inawashiro.fukushima.jp/taiken/>



体験交流館利用についてのお知らせ

- ① 4月から体験交流館の利用申請期間が変更になります。大研修室を催事以外で利用する場合(練習など)と、その他の研修室を利用する場合は…
■利用日の2カ月前から前日までの間に予約、申請と支払いを済ませてください。
■利用日当日は、窓口にご利用許可書を提示してください。
- ② 持ち込み電気器具は、1キッチにつき、1時間60円の料金がかかります。
- ③ 4月から月2回程度、メンテナンスなどのため休館します。活動日と考えていた皆さんには大変ご迷惑をかけますが、ご理解とご協力をお願いします。

休館日	4月	4日(日)・26日(月)
	5月	2日(日)・24日(月)
	6月	6日(日)・28日(月)
	7月	4日(日)・26日(月)
	8月	1日(日)・23日(月)
	9月	5日(日)・27日(月)
	10月	3日(日)・25日(月)
	11月	21日(日)・22日(月)
	12月	5日(日)・27日(月)
	1月	10日(月)
	2月	27日(日)・28日(月)
	3月	6日(日)・28日(月)

ボランティアスタッフ研修会開催

体験交流館で開催するイベントなどのボランティアスタッフを育成する研修会は舞台関係が2月24、25の両日、音響関係が3月11、12日の両日、同館で開催されました。
受講した皆さんにはさまざまな催事でボランティアとして活躍していただくことができますので、ご協力をよろしくお願いします。



猪苗代町体験交流協会からのお知らせ

町体験交流協会は、猪苗代町体験交流館「学びいな」を拠点とし、学びいなの運営基本理念である「新たな人づくりと生涯学習の場」「新たな芸術文化の創造と発信の場」「新たな協働と連携による地域間交流とまちなかへの誘導拠点としての情報発信の場」の形成を図るため、21年3月に設立しました。現在68団体、14人の個人会員が加入しています。

昨年は出来たばかりで右往左往していましたが、ギターコンサートなどの主催事業、アメリカ空軍音楽隊の公演、学びいなまつり、ほたるやサギ草の鑑賞会などの協働事業、舞踊4団体発表会、各団体の発表会やクリスマスコンサートなどの共催・後援事業を催し、あわせて学びいなのこれからどのように利用していくかなどの企画会議や学びいなとその周辺の清掃なども実施しました。
また、人材育成として当面、舞台、照明や音響などの研修会を実施したところ、協会に加入している人はもとより、未加入の人の参加もあり今後も続けていきたいと考えています。
新年度に合わせて、各団体や個人に活動内容や講座を開くことができるかなどの調査を実施しました。結果を生かし、より多くの人々が楽しく学び、体験できるイベントの開催に努めていきます。
体験交流協会では団体・個人を問わず会員を募集しています。
問い合わせ先 町体験交流館「学びいな」 ☎(72)0180
体験交流協会総会 日時：22年4月24日(土)13:00～ 場所：体験交流館「学びいな」
内容：21年度事業・決算報告・22年度事業・予算(案)

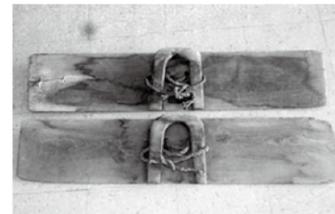
いなわしろふる里かるた発売

教育委員会では、生き粋セミナー(高齢者対象の講座)の中で猪苗代町に関する内容の「ふる里かるた」づくりに取り組み、21年度に成果品が完成しました。すでに町内の小・中学校には贈呈済みで、今後活用が期待されるふる里かるた。22年度からは皆さんにも発売することになりました。
発売時期：22年7月
申込期間：22年4月～5月31日
販売価格：はがきサイズ：1,200円、はがき1/2サイズ：800円
取扱場所：町体験交流館「学びいな」 ☎(72)0180
その他：詳細は別に発送した「ふる里かるた申し込み」をご覧ください。
*現在販売している図書(取扱場所は町体験交流館です)
○猪苗代町史 歴史編：4,800円
自然編：3,500円
民俗編：4,000円
○いなわしろの民話：900円



民具から知る昔

昔から農作業などわたしたちの生活に密着していた民具。急激に進んだ機械化により、今ではその姿を見ることはほとんどなくなりました。民具は同じ作業に使うものでも、その地方の風土、気候にあわせて工夫されているのが特徴です。今回はこの地方のヒドロタ(湿田)で使われていたナンバを紹介いたします。
ナンバは横に長い板状の道具で、主に杉や朴の木で作られていました。中央にあるU字形の突起に足を通して履き、くわで起こした土塊を踏み通して履いてシロをかくのに使われていました。また、馬のいない家では、青草を刈って田んぼに入れて踏み、肥しにするカッチキ(刈敷)という作業があり、ナンバはこれにも使われていました。
ナンバの歴史は古く、稲作が始まった弥生時代ごろにはすでに使われていたと考えられています。本町とは遠く離れた静岡県の弥生時代の遺跡、登呂遺跡、から類したものが出土しています。
写真のナンバはふるさと歴史館に展示してありますので、ぜひご覧ください



写真のナンバはふるさと歴史館に展示してありますので、ぜひご覧ください

未登録の銃砲・刀剣類を発見した人は登録を受けてください

未登録の銃砲・刀剣類を発見したときは、最寄りの警察署に発見を届け出てください。
発見届が済むと、県教育委員会(県教育庁文化財課)から発見届出者に登録審査会の案内がありますので、案内に従って手続きをしてください。すでに登録済みの銃砲・刀剣類の所有者が変更となる場合には県教育委員会に所有者変更の届け出が必要になります。
銃砲・刀剣類の適正な取り扱いにご協力をお願いします。
問い合わせ先：県教育委員会 文化課 ☎024(521)7787



県指定重要文化財 「一太刀 長道・兼定・道辰共謹鍛之」(土津神社所蔵)

人事

町職員の人事異動を お知らせします

町職員が4月1日付で異動しました。()内は旧職名。

退職 (3月31日付)

- ▼大坂悌造 (総務課長) ▼渡部昭 (企画財務課) ▼佐賀昭男 (会計室長) ▼斉藤直 (教育総務課長) ▼一ノ瀬幹男 (上下水道課主任主査) ▼宗像晴枝 (教育総務課主任主査) ▼穴澤啓子 (翁島小学校主任調理士) ▼青木美枝子 (吾妻中学校用務員) ▼佐藤敏候 (猪苗代小学校用務員)
- ▼鈴木初美 (保健福祉課主任主査) ▼鈴木美幸 (保健福祉課保育士)

異動

- 課長職
- ▼総務課長 (農林課長) 渡部大助
- ▼企画財務課長 (農業委員会事務局長) 五十嵐秀一
- ▼税務課長 (生涯学習課長) 小檜山勲
- ▼会計管理者兼会計室長 (税務課長) 田代剛
- ▼農林課長 (企画財務課主任主査兼財務業務主任)

募集

保育士として勤務する 嘱託員を募集

本町では、22年度の嘱託員を次のとおり募集します。

【嘱託員】

- ▼募集職種および人員
- ・保育士 若干名
- ▼資格要件
- ・心身とも健康で、次の資格を有する人
- ・保育士の資格・免許を有すること。
- ▼勤務条件
- ・猪苗代町嘱託員の任用等に関する規則による。
- ▼応募手続き
- ・町指定または市販の履歴書に写真貼付の上、4月21日(水)まで総務課へ提出してください。履歴書は総務課に備え付けてあ

- 石川洋一▼商工観光課長 (議会事務局局長) 石田幸一▼議会事務局 (企画財務課主任主査兼企画調整業務主任) 菅原弦▼農業委員会事務局 (病院整備室長) 斎藤安雄▼教育総務課長 (商工観光課長) 鈴木基司▼生涯学習課長 (総務課主任主査兼行政代理業務主任) 関和清智

課長相当職

- ▼総務課主任主査兼行政代理業務主任 (上下水道課主任主査兼水道管理業務主任) 五十嵐慎一▼保健福祉課主任主査兼保育所長 (総合政策室主任) 榊原源法▼上下水道課主任主査兼水道管理業務主任 (保健福祉課主任主査兼保育所長) 秋山義徳▼教育総務課主任主査 (生涯学習課主任主査兼体験交流館長) 後藤新一

課長補佐相当職

- ▼企画財務課主任主査兼企画調整業務主任 (商工観光課主任主査兼商工観光業務主任) 野矢実
- ▼企画財務課主任主査兼財務業務主任 (町民生活課主任主査兼国保年金業務主任) 森田茂夫
- ▼町民生活課主任主査兼国保年金業務主任 (総合政策室主任主査兼総合政策業務主任) 渡部浩幸
- ▼保健福祉課主任主査兼高齢者福祉業務主任 (生涯学習課主任主査兼生涯学習業務主任) 遠藤

「ちびっぴーランド」で 一緒に遊ぼう

本町では、親子の遊びの教室「ちびっぴーランド」を前期と後期に分けて開催しています。今回は、前期日程の参加者を募集します。子どもたちは友だちと遊ぶ場に、保護者は情報交換やリフレッシュの場として楽しんでください。

▼対象

町内在住の2歳から4歳までの子どもと保護者 20組 (以前参加した人は除きます)

▼開催日時

5月11日(火)、6月8日(火)、7月27日(火)、8月24日(火)、9月28日(火)の全5回

▼開催時間

午前10時から12時まで

▼会場

町農村環境改善センター

▼申込締め切り日

4月23日(金)

定員になり次第締め切ります

▼申し込み・問い合わせ先
保健福祉課 健康づくり業務

☎(62) 21115

- 満
- 係長職
- ▼商工観光課商工観光業務主任 (税務課主査) 古川一昭▼生涯学習課主任主査兼生涯学習業務主任 (総務課主査) 佐藤重則

係長相当職

- ▼総務課主査 (企画財務課主査) 薄治彦▼総務課主査 (生涯学習課主査) 渡部克宏▼企画財務課主査 (総合政策室主査) 柴田敏和▼企画財務課主査 (総合政策室主査) 歌川早苗▼税務課主査 (農林課主任) 小椋聖▼保健福祉課主査 (町民生活課主査) 古川いち子▼保健福祉課主査 (病院整備室主査) 宇南山賢司▼保健福祉課猪苗代保育所主任保育士 (保健福祉課川桁保育所主任保育士) 福地彰子▼保健福祉課中の沢保育所主任保育士 (教育総務課みどり幼稚園主任教諭) 星野恵美子▼農林課主査 (総務課主査) 小鮎克弘▼農林課主査 (生涯学習課主査) 小澤和広▼上下水道課主査 (商工観光課主査) 棚本剛▼教育総務課猪苗代幼稚園主任教諭 (教育総務課吾妻幼稚園主任教諭) 橋本公子▼教育総務課みどり幼稚園主任教諭 (保健福祉課猪苗代保育所主任保育士) 大坂千佳子▼教育総務課吾妻幼稚園主任教諭 (教育総務課音妻幼稚園主任教諭) (教育

町があなたの子育てを 強力サポート

子育て中や妊娠中の皆さんに必要な各種手続き、遊び場や保育サービスなどの情報を掲載した「子育て支援ガイドブック」が完成しました。

▼入手方法

妊娠届、出生届や転入届などの提出時に順次配布していきますが、必要な人は、保健福祉課窓口で受け取ってください。町ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

▼問い合わせ先

保健福祉課社会福祉業務
☎(62) 21115

国保

失業した人の国保税を 軽減する制度

4月から国民健康保険税が軽減されます。対象者は離職の日から翌年度末までの期間に、
①雇用保険の特定受給資格者 (倒産、解雇などによる離職)
②雇用保険の特定期間資格者 (雇止めなどにより離職)として失業等給付を受ける人です。

- 総務課千里幼稚園主任教諭) 青木美緒

担当の職

- ▼町民生活課主任主査 (税務課主任主査) 吉田紀子▼保健福祉課主任主査 (総合政策室主任) 二瓶貴之▼保健福祉課猪苗代保育所保育士 (保健福祉課川桁保育所保育士) 佐藤陽子▼保健福祉課川桁保育所保育士 (保健福祉課猪苗代幼稚園教諭) 武藤玲子▼保健福祉課中の沢保育所主任調理士 (教育総務課吾妻共同調理場主任調理士) 長沢由美子▼教育総務課栄養士 (保健福祉課栄養士) 矢内あゆみ▼教育総務課猪苗代幼稚園教諭 (保健福祉課川桁保育所保育士) 先崎千賀子▼教育総務課千里幼稚園教諭 (教育総務課猪苗代幼稚園教諭) 阿部紗千▼教育総務課翁島小学校主任調理士 (教育総務課千里小学校主任調理士) 長沼真知子▼教育総務課千里小学校主任調理士 (教育総務課猪苗代小学校主任調理士) 齋藤由美▼教育総務課吾妻共同調理場主任調理士 (保健福祉課中の沢保育所主任調理士) 長谷川礼子

派遣

- ▼会津若松市夜間急病センター

救急

会津若松市夜間急病センターが移転

21年度中に右記の理由で国保に加入した人は、22年度に限り国民健康保険税が軽減されます。軽減を受けるには申請が必要です。制度の詳細は内容や説明などについては、町民生活課国保年金業務に問い合わせてください。

- ▼問い合わせ先
町民生活課 国保年金業務
☎(62) 21114

4月1日から夜間急病センターが移転しました。夜間の急な発熱や風邪などのときに利用してください。

- ▼診療日 年中無休
- ▼受付時間 午後6時30分から午後10時30分まで
- ▼診療科目 内科・小児科系
- *日曜・祝日などの休日は小児科専門医が診療します。
- 休日以外も小児を診察できる内科医が診療します。
- ▼問い合わせ先
会津若松市山鹿町1番22号
会津若松市夜間急病センター
☎(28) 11199

募集

余暇支援活動の会に参加しませんか

町余暇支援活動の会(びーすの会)は、障がいのある人もない人も一緒に暮らせる豊かな地域社会づくりを目指しています。啓発活動のほかにも音楽、運動や食事など楽しい活動をしている会です。

本年度は、昨年より一歩前進し、企画された行事に参加するのではなく、参加者自らが活動内容(やりたいこと)を決定し、交流しようと計画しています。性別、年齢などは問いません。ぜひ、この機会に参加してみんなで楽しい活動をしてみませんか。

- ▼開催日時 22年度総会 4月25日(日) 午前10時から正午まで
- ▼会場 町農村環境改善センター
- ▼申し込み締め切り 4月20日(火)
- ▼申し込み・問い合わせ先 町地域活動支援センター 遠藤 〆(62)2024 工房ポプリ 渡部 〆(62)2011

特別寄稿

第二の古里を思う、熱い心を伝えたい。

東京猪苗代町民会の前会長である阿部昌夫さんから特別寄稿がありましたので、原文のまま紹介します。

疎開児童の愛郷心

あの悲惨な太平洋戦争末期の昭和十九年・二十年の頃、戦禍の東京から小学生の集団疎開が、猪苗代地区にも割り当てられ受け入れられた。

当時は猪苗代地区でも生産食料は厳しい管理を受けて農家でも大根を入れた飯を食うなど、決して余裕のある生活ではなかったが、東京で日夜空爆にさらされる児童達の生命を守るためのやむを得ない決定だったに違いない。

小学校の三年・四年・五年生と云えばまだ十歳そこそこの年齢で、子供達は親元から離され、見知らぬ遠い田舎へ連れて来られる集団疎開生活をどんな思いで過ごしたのか想像するだけでも胸がしめつけられる思い



相談無料、秘密は厳守します。

相談

人権擁護委員・行政相談委員 合同相談会

毎日の生活の中で、人権問題ではないかと感じたことや法律の取り扱いが分からなくて困ったことはありませんか。

そんな時には、人権擁護委員と行政相談委員が問題解決のお手伝いをします。この機会にぜひご相談ください。

- ▼開催日時 4月16日(金) 午前10時から午後3時まで
- ▼会場 町役場3階 日本間
- ▼その他 相談無料・秘密厳守
- ▼問い合わせ先 総務課 秘書広報業務 〆(62)2111

行政相談委員に相談してみませんか

行政相談委員の定例相談を実施

です。事実、二度と思い出したくないと言われる人達の話は何人もの人から聞いた事もありま

こんな疎開児童の出身者で猪苗代町最初の功労町民となられた大石喜代男画伯は画家の道を歩まれた若い頃、疎開先の翁島小学校に百五十号の大作を寄贈され、その後二〇〇〇年には文部大臣賞の百二十号の「壺中の天、眼前に在り」二〇〇一年には百号の滝の絵「天地の奮迅」二〇〇二年には大波の寄せる絵「不穩の序曲」の大作を三年続けて猪苗代町に寄贈され、猪苗代町に光り輝く名画は未永く町の人達の目を楽しませる事とします。

これらの作品を仕上げられる度、朝、画伯は当時の私の浅草の事務所に三度ともお見えになり、今朝作品が完成しましたと教えに来られました。その疲れきった姿から画伯の気力・体力を燃やし尽くす生命を削る制作のご苦労がまざまざと垣間見られる思いがしたものです。

「壺中の天」とは遠い昔の中国で、苦しみ多い生活を送った庶民が理想郷を小さな壺の中に

施します。定例相談は月1回第3水曜日に開催しています。相談は無料で秘密は厳守します。猪苗代町行政相談委員 宮沢 重正さん(下館) 〆(66)3995

- ▼開催日時 4月21日(水)、5月19日(水) 午後1時から午後3時まで
- ▼会場 町役場3階 日本間
- ▼問い合わせ先 総務課 秘書広報業務 〆(62)2111

掲示板

告示

- ・第23号「平成21年度町県民税の公示送達について」
- ・(税務課収納業務)
- ・第24号「平成21年度国民健康保険税の公示送達について」
- ・(税務課収納業務)
- ・第25号「差押書の公示送達について」
- ・(税務課収納業務)
- ・第26号「国民健康保険被保険者証の無効告示」
- ・(町民生活課国保年金業務)
- ・第27号「猪苗代町指定給水装置工事業者指定告示」
- ・(上下水道課水道施設業務)

求めた故事に因んだ画題で、美しい山と湖と田畑の広がる猪苗代を正に理想郷として描かれた大石画伯の生涯の名作です。

大石画伯は翁島地区に疎開され、終戦後東京へ帰る時、地元の人達が生徒全員に南瓜を一個ずつおみやげにリュックサックに入れてくれた思い出話をよくされます。若い頃から磐梯山の絵を数多く描かれ、私を知り合ったのも銀座の東急ホテルの画廊で磐梯山の絵だけを集めた画伯の展覧会場でした。

この他、忍岡小学校から当時の伊勢屋旅館に疎開された三宅史先生は例年の総会で温顔を覚えて戴いておりますが、この方と一緒に疎開された小川誠二先生は世界最先端の科学者で最近アメリカの代表的な科学雑誌であるサイエンス誌にも世界の科学を発展させた人類史上の一〇〇人の中の一人として紹介されている程です。近年ノーベル賞の登壇と言われるカナダのガードナー国際賞も受賞され、天皇御臨席の日本国際賞も受けられています。

この方が十年ほど前朝日賞を受けられた時、その喜びの心が

・第28号「差押書の公示送達について」(税務課収納業務)

- ・第31号「不動産等の最高価申込者決定通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第32号「公の施設に係る指定管理者の指定について」
- ・(町民生活課生活環境業務)
- ・第33号「公の施設に係る指定管理者の指定について」
- ・(農林課農林業務)
- ・第34号「配当計算書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第35号「町道路線の区域の変更について」(建設課建設業務)
- ・第36号「公共下水道供用開始告示」(上下水道課下水道業務)

公告

- ・第10号「猪苗代町都市公園供用区域変更公告」
- ・(建設課都市整備業務)
- ・第11号「土地価格等縦覧帳簿及び家屋価格等縦覧帳簿を縦覧する件」(税務課賦課業務)
- ・第12号「不動産等の最高価申込者決定の公告について」(第8号) (税務課収納業務)

※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧ください。それぞれを担当課にお問い合わせください。

ら、三宅先生と二人で雪の降る猪苗代町に來られ、旅館から長靴を借りて疎開の時お世話になった人達の墓参りをされたお話を当時浅草の事務所にいた私に話されたのを昨日の事のように思い出されます。

このように日本第一級の人達が小学生の時集団疎開されただけの縁で猪苗代町に強い愛郷心を持ち続けておられるのは、疎開児童だった子供達の賢い眼差しに映ったわが町の先人たちが、たとえ充分とは言えないまでも心を込めて疎開児童に対応してくださった証でもあり、このことは東京猪苗代町民会の誇りであり、また猪苗代町全体の誇りでもあると思われま

東京猪苗代町民会前会長 阿部 昌夫(伯父ヶ倉出身)



猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況 (平成22年2月28日現在)

1 犯罪発生状況					
町村別	年別	平成22年	平成21年	増減	増減率%
猪苗代町		21	23	-2	-8.7
磐梯町		7	11	-4	-36.4
裏磐梯		1	2	-1	-50.0
計		29	36	-7	-19.4

罪種別	町村別		猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
	22年	21年	22年	21年	22年	21年	22年	21年
窃盗犯計	17	22	6	11	1	1		
空き巣								
金庫破り								
事務所荒らし								
出店荒らし		1						
倉庫荒らし								
侵入盗その他								
置き引き								
車上ねらい	1	4						
部品ねらい		1						
脱衣場ねらい	1	7						
自販機ねらい								
万引き	2							
職場ねらい	2	1						
さい銭盗				1				
畑荒らし								
スキー・スノーボード盗	4	3	6	10	1			
非侵入盗その他	7	5						1
自動車盗								
オートバイ盗								
自転車盗								
その他の乗り物盗								
暴行・傷害								
詐欺・横領	2							
遺失物等横領	1							
器物損壊	1	1						1
その他の刑法犯			1					
総計	21	23	7	11	1	1		2
増減			-2		-4			-1

- スキー場での盗難被害が多発しています。
- 板にはワイヤーロックを掛けましょう
- 自動車内に、貴重品を置かないようにしましょう。

2 交通事故発生状況							
死亡事故	増減	0	0	0	0	0	0
人身事故	増減	24	19	4	3	1	5
	増減	5		1		-4	

- 「PM4 (ヒートライトオン) 運動実施中です。
- 圧雪・凍結の道路では速度を控え、路面状況にあった安全運転をお願いします。

4月から新しくなりましたファミたんカード

4月1日からファミたんカードが新しくなりました。まだ新しいカードの交付を受けていない子育て家庭の人は、保健福祉課の窓口で申し込んでカードを受け取ってください。

※新しいカードは、お子さんが3月まで学校など(小・中・高校、幼稚園、保育所や認可外保育施設)を利用していた場合、そちらから配布されています。

●ファミたんカードとは
子育てを地域全体で応援するため、子ども(子育て家庭)に交付したカードです。家族の人が利用できます。協賛店でファミたんカードを提示すると、割引・特典などのサービスを受けることができます。

※協賛店は県内で約4,400店

●他県のカードとも連携
隣県(茨城、栃木、群馬)と広域連携を実施しています。他県のカードを入手することで、その県で提供されているサービスを受けることができます。他県のカードの入手を希望する人は、県子育て支援課までお問い合わせください。



●県子育て支援課 ☎024(521)7198
町保健福祉課 ☎(62)2115

夏休みの体験を通して子どもの国際性を養う

文部科学省所管の財団法人国際青少年研修協会では、夏休み期間中、小学校3年生から高校生までを対象に国際交流事業を実施します。

- 期間 22年7月23日(金)から8月15日(日)までの数日
 - 内容 ホームステイ、学校体験、英語研修、文化交流など(参加コースにより活動内容、日数は異なります)
 - 派遣先 アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダなど
- ※詳しくは下記まで問い合わせください。

●財団法人国際青少年研修協会
☎03(6459)4661
✉info@kskk.or.jp

4月の献血は28日(水)血液が不足しています

下記の日程で、町役場に献血バスがやってきます。全血献血にご協力ください。

- 日時 4月28日(水) 午前9時から午後5時まで
 - 場所 町役場 正面玄関前
- 保健福祉課 健康づくり業務 ☎(62)2115

消防署からのお知らせ 火や山火事に注意

山火事はちょっとした火の不始末から大きく広がってしまいます。火や山火事をする際は注意事項をもう一度確認しましょう。

1. まわりに燃えやすい物(枯れ草・建物)がないか確認する。
2. できれば穴を掘る、燃焼容器を使用する
3. 消火器具(水バケツ、消火器やスコップなど)を準備する
4. 強風時や乾燥時には、火や山火事をしない
5. 火入れの届出を必ずする
6. たばこの火は必ず消す。吸い殻を投げ捨てない
7. 火や山火事が終わったら完全に消火する。火が完全に消えるまでその場を離れない

住宅用火災警報器を設置しましょう
●猪苗代消防署 ☎(62)4433

5月3日は憲法記念日 法への理解を深めよう

この記念日は昭和22年5月3日の日本国憲法の施行を記念し、法の役割の理解を深めるために制定されたものです。

- 5月1日～7日、憲法週間標語法を守るあなたが法に守られる
 - 憲法週間記念無料法律相談 5月10日(月) 午前10時～午後3時 福島地方・家庭裁判所 会津若松支部構内
- 福島地方・家庭裁判所 ☎(27)0264

町立猪苗代病院からのお知らせ

福島市方面から車で来院する皆さんへお知らせします。町立病院の正門から来院する際、交通事故などが発生する恐れがありますので、国道115号線を右折して来院しないようお願いします。

●保健福祉課 健康づくり業務 ☎(62)2115



プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
消息欄は削除しました。ご了承ください。

善意をありがとう

- 翁島小学校の学校教育充実のため 五島喜代子さん(前翁島小校長) 図書券 25,000円分
- 穴沢啓子さん(前翁島小調理士) 図書券 25,000円分
- 翁島幼稚園の教育充実のため 五島喜代子さん(前翁島幼稚園長) 図書券 20,000円分

町の人口

平成22年3月1日現在の現住人口(前月比)	
世帯数	5,077戸(-3)
人口	7,578人(-9)
男	8,269人(-16)
女	15,847人(-25)
計	
出生	12人
転入	15人
死亡	23人
転出	29人

- 固定資産税 1期分
 - 下水道使用料 4月分
- 今月の納期(納期限4月30日)

編集後記

▼パラリンピックで銅メダルを獲得した鈴木猛史選手。まずは町長や町民の皆さんに報告したいと町役場を訪問してくれました。そう言えば、先日オリンピックで7位に入賞した遠藤尚選手も、自宅に滞在できるわずかな時間を報道陣の取材に割られてしまい、本当は町長や町民の皆さんに報告したかった。すいませんと言いつつ、あわただしく自宅を出発していった。▼世界を舞台に活躍するアスリートたちが、町民の皆さんや町を大事に思ってくれている。なんだか誇らしげな気分になると同時に、もっと応援したい気持ちになります。▼本年度も広報を担うことになりました。「締め切りやバインです」というわたしの強引な取材に協力してくれる皆さん(笑)。いつも本当にありがとうございます。本年度も情報提供や取材への協力などよろしくお願いいたします。

(大坂)

みんなの美術館

4月は翁島小学校のお友達のお作品です(学年は3月23日現在)

Our Museum



書道「読む」

全体のバランスに気をつけて書きました。一番気を付けたところは「む」の回るところです。上手に書けたと思います。



渡部 ^{たいが}大河さん(5年)



夜の街

暗めの色を多くして、夜の感じを出しました。ローラーで引いた太い線は風をイメージしています。うまく表現できました。



川井 ^{あいの}彩乃さん(6年)

食生活改善推進員コーナー

～旬の野菜でカンタン料理～

No. 155

アスパラと長イモのバター炒め (春野菜を使った献立)



【材料】4人分

グリーンアスパラガス 120g・長イモ 240g・ベーコン 40g・バター 8g・A(しょうゆ 小さじ1・コショウ 少々)

【作り方】

- ① 4等分に切ったアスパラガスを下ゆでします。
- ② 皮をむいた長イモを4等分の長さに切ります。ベーコンは細切りにします。
- ③ フライパンにバターを熱し、①②を炒めます。
- ④ 長イモが薄く色づいたらAで味を調えて、出来上がり。

【一人当たりの栄養量】 エネルギー 104kcal、タンパク質 3.6g、脂質 5.8g、カルシウム 18mg、鉄分 0.6mg、食物繊維 1.1g、塩分相当量 0.6g

■一口メモ■

- ・アスパラガスには、その名の由来ともなったアスパラギン酸が多く含まれており、疲労回復やスタミナ増強に力を発揮すると言われています。
- ・長イモのかわりに新ジャガを使うとより春らしい一品になります。